



カナダからの No.2 風にのせて

Ardisby McDonald 英語指導助手 / リンズィー・マクドナルド

Communication and the Time Difference

I have friends all over the world. Some of these friends I met while they studied in Canada. Others I had the chance to meet when I studied abroad in Osaka. Many of my best friends, both Japanese, and others from various countries, live here in Japan. Of course, my family and many of my other friends are back in Canada.

As a Canadian, I'm very familiar with trying to communicate with people in different time zones. Canada is so big that it is spread out over 6 different time zones. If the time was 10:00 am in Western Canada, the time on the east coast would be 2:00pm (2:30pm in one province).

It's wonderful having friends all over the world. I have people to visit in Japan, Australia, Hong Kong, Egypt, Brazil and many other places as well as Canada, of course. This is also difficult though. For example, one of my younger brothers celebrated his birthday on August 25th. In the province of Alberta, the time is 15 hours behind Japan's. If I had tried to wish him 'Happy Birthday!' on August 25th here, it would still be August 24th in Alberta. Once it's late enough in the day there for my brother to be awake, it's too late in the day here to call, and I would be sleeping. I would have to call my brother on the morning of August 26th. (I forgot to call my brother this year, so I just sent an email!)

The time difference makes communicating with those I love difficult. I hope that everyone can forgive me for calling on the wrong day in the middle of the night. I can usually forgive them for accidentally calling me at 3am!

The time difference is just one thing among many that makes living in different countries challenging. However, since I think that calling is more personal than emailing, I will call when I can. Hopefully the people I call agree with me (even at 3am!) that it's the thought that counts!

コミュニケーションと時差

カナダへの留学生や、わたしが大阪留学中に出会った人など、世界中に友だちがいます。国籍はさまざまですが、多くは日本在住です。またカナダにも家族とたくさん友人がいます。わたしはカナダ人なので、時差のある地域に住む人との付き合いをいろいろ経験してきました。カナダは広いので時刻の基準が6つあります。例えば、カナダ西部が午前10時だと、東海岸は午後2時です(2時半の地域もあります)。

カナダだけではなく日本、豪州、香港、エジプト、ブラジルその他世界中に友人いて、それはそれで素晴らしいことです。でもこれがまた大変だったりもします。例えば、8月25日は弟の誕生日。アルバータ(カナダ)は日本より15時間遅れです。日本で25日に「誕生日おめでとう!」と言おうとしたら、アルバータはまだ24日でした。結局、カナダ側が夜遅すぎて電話ができず、待っていたら今度はこちらが寝る時間になり電話できませんでした。結局26日朝に電話しました(今年は忘れていたのでもメールにしましたが)。

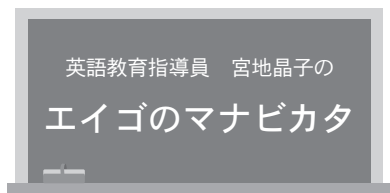
確かに時差があると大事な人とのコミュニケーションは難しくなります。間違っても真夜中に電話してしまっても許してほしい、と思います。わたしも誰かがうっかり未明の午前3時に電話してきても許します。時差は外国に住む大変さのほんの一例に過ぎませんが、ともあれ電話のほうがメールより親しみを込めた感じがするので、わたしはできるだけ電話しています。わたしが電話する相手も同じように思っていてくれるといいな、と思います(それがたとえ夜中の3時でも!)。だって大事なものは気持ち、ですものね。

(訳: 宮地晶子)

写真の町の通訳のとき、関東地方から来たゲストの方が声をかけてくれました。「わたしも翻訳の仕事をしています。この町の図書館に行ってみましたね」。そして次に口から出た言葉には、雷に打られたかのごとく驚きました。「というのも、わたしにとって今一番興味があるのが英語の本の多読なんです」と。

みなさんは「シンクロニシティ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「共時性」と訳します。びっくりするような偶然の出来事、奇跡と思えるような出会いを言います。

実はわたしはここ一年ほど頭の中が多読でいっぱい。多読をしつかりや



第53回

シンクロニティー

れば誰もがもつと英語ができるようになる。これをこの町でやりたい、と多読の第一歩に踏み出した。多読の良さやわが子で実践済みでも、どうやったら人にわかってもらえるだろうか、と。そんな時、この見ず知らずの人の口から多読のことを聞くなんて。びっくり仰天です。

「この五年で多読が急速に広まっている」「杉並区でも取り入れている」「素晴らしい英語力がつくことが各地で実証されている」。おまけに多読の第一人者にも紹介してくれるというのです。ほんとにびっくり。

この夏、わたしはほんの数人ながら、希望者を募って多読講座を開く予定を立てていました。初めてのことでも不安でしたが、でもその出会いのおかげで、自信を持って取り組むことができました。

「あなたの進んでいる方向が真実、正しいものであるとき、『シンクロニシティ』は起こります」と何かの本に書いてありました。「シンクロニシティ」がわたしにくれたのです。